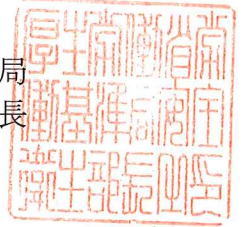


公益社団法人
日本認知症グループホーム協会
代表理事 殿

厚生労働省労働基準局
安全衛生部長



平成 30 年度「『見える』安全活動コンクール」の実施等について
(協力依頼)

労働安全衛生行政の推進につきましては、平素より格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省では、事業場・企業(以下「事業場等」という。)の安全活動の活性化を目的として、昨年度に続き、平成 30 年度「見える」安全活動コンクールを実施します(参考:平成 30 年 8 月 24 日付け報道発表(別添))。「第 13 次労働災害防止計画」では、小売業、社会福祉施設、飲食店等の第三次産業を重点業種としており、今後労働災害防止対策をより一層強化する予定ですが、第三次産業の事業場からは、従前から本コンクールへの応募が少ないことが現状です。

そのため、本コンクールを活性化し、第三次産業の事業場での労働災害防止対策の機運を醸成するため、下記のとおり広報に御協力くださいますようお願いいたします。

記

1 ホームページ上での周知

貴団体のホームページ内に「『見える』安全活動コンクール」特設ページや厚生労働省の報道発表ページへのリンクを設定し、厚生労働省が「『見える』安全活動コンクール」への応募を受付中であることと、「あんぜんプロジェクト」への参加事業場等を募集中であることについて、関係事業場等に対して周知いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

(参考)「『見える』安全活動コンクール」特設ページ

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/oubo.html>

厚生労働省報道発表ページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00976.html

2 リーフレットを活用した周知

「『見える』安全活動コンクール」と「あんぜんプロジェクト」の周知用のリーフレットを「あんぜんプロジェクト」ホームページ上に掲載しております。

当該リーフレットを活用して、傘下団体及び賛助会員等に対して、コンクールへの応募・投票や、「あんぜんプロジェクト」への参加の呼びかけにご協力をお願いいたします。特に、「転倒災害を防止するための『見える化』」や、「腰痛を予防するための『見える化』」、「メンタルヘルス不調を予防するための『見える化』」や本年度より募集を開始した、「通勤、仕事での健康づくりや運動の『見える化』」等の取

組事例は、第三次産業の事業場でも関係しうる取組ですので、積極的に応募いただけるよう、周知をお願いいたします。

なお、過年度よりあんぜんプロジェクトの参加事業場等に対し、STOP！転倒災害プロジェクトとのコラボステッカーを配布しておりますので、併せて周知をお願いいたします。

(参考)リーフレット掲載ページ

http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/leaflet_2018.pdf